

## 高山赤十字病院 看護体験を実施 ～中高生ら「看護の心」を学ぶ夏～

高山赤十字病院にて、中高生らを対象としたふれあい看護体験が実施されました。これは、岐阜県ナースセンター主催の「看護の心普及事業」のひとつで、看護師や医療職に興味のある中高生が応募され、中学生 27 名と高校生 47 名が参加しました。7月25日(木)～26日(金)の2日間を中学生、8月5日(月)・8日(木)の2日間に高校生と対象を分けて実施しました。

午前はグループに分かれ病棟にて、看護師と一緒に足浴や清拭を行いました。そして、午後は講堂に場所を変え、人形を使った「身体の観察」心臓や肺の音を聞き、職員が学生の血圧測定を行い、看護師の日常を体験しました。また「患者体験」として、砂のうや特殊なメガネを用いて高齢者や妊婦さんの疑似体験をするといったプログラムもあり、医療職と患者の両側面から医療を考えることが出来るプログラムでした。

参加した学生は「高齢者の方々や妊婦さんが、どんな気持ちでいるのかよく分かった」、「看護師はやりがいある仕事だと聞いていたが今回、患者さんからの『ありがとう』や『気持ちよかった』という言葉に“喜び”や“やりがい”を感じた」など、感想を述べていました。



高齢者体験

前も見えにくくて、歩きにくい！



血圧測定中・・・結果を待つ間は少し緊張



聴診器を使って心音確認

## 高山赤十字病院 医師等を目指す若手を支える体験学習を実施

平成 25 年 8 月 12 日(月)に高校生の医師、コメディカル希望などを対象とした体験学習が行われました。この体験学習は、『将来医療系への就職を希望する飛騨地域の高校生を対象に、医療の現場を見学することにより進路選択していく上で参考にしてもらうこと』を目的として毎年実施しています。毎年 100 名以上の応募があり、今年度も 103 名の参加者が集まりました。

体験学習の前半は、当院の概要説明及び各職種の説明を行い、その後、希望職種毎に分かれ、現場見学及び体験を行いました。医師を希望した学生は、白衣を身にまとい、より立派に見え、将来を期待できそうに思えました。現場説明では、デモ機を利用した胃カメラ体験や医療機器の説明を受け「今まで以上に医師の大変さが分かり、より医師を目指す気持ちが強くなった」などと語っていました。



胃カメラの操作に挑戦 体の中の様子に興味津々



放射線治療装置の説明中